

報道機関各位

み
や
ま
有
明
く
ら
し
調
う、



商工観光課 商工観光係
担当 中島
TEL 0944-64-1523

第8回「つきなみ旅」を開催

～ 筑後乃国阿蘇神社の歴史を巡る散策体験 ～

今回の体験は、筑後乃国阿蘇神社の歴史について、神職に説明いただきながら、ゆかりの地を巡ります。

傷んだ名刀を蛭が修復したといわれる幻の刀剣「蛭丸」が、「令和の蛭丸」として新たに復元・奉納されており、当日披露されます。蛭は、儚くも美しい光を放つことから、魂の象徴や、神聖な存在として古来より人々に敬われてきました。蛭が特別な存在だった昔の人々の心に思いを寄せながら、阿蘇神社の歴史に触れてみてください。

自然と調和した庭づくりが美しい「雑木の庭武蔵野」でのケーキセットと、蛭丸にちなんだ特製線香花火のお土産付です。

- 期 日 令和7年5月31日(土) プログラム開始 9:30～
- 定 員 10名
- 参加費 2,500円
- 集合場所 筑後乃国阿蘇神社(みやま市高田町海津1642)
- 主 催 みやまブランディング推進委員会
- 協 力 筑後乃国阿蘇神社
- 問い合わせ・申し込み
みやまブランディング推進委員会(TEL:64-1523 商工観光課内)

※「つきなみ」とは元来、月々おこなわれる「嘗(なめ)＝収穫を祝いながら自然の神々との供食・食事会」のことであり、旧暦の時代に大切にされていた月のリズム(月波)を意味しています。

■筑後乃国阿蘇神社

本市高田町海津に鎮座する同神社は、南北朝時代、南朝方についた阿蘇神社大宮司の義理の弟・恵良惟澄(えら これずみ)が多々良浜の戦いで敗れて落ち延び、矢部川のほとりで蛭が刀剣を修復した夢を見た後、海津の大木城主に助けられ、その地に感謝し阿蘇の神を祀る社を建立したのが起こりとされています。

